



大樹のこころ

開校150周年

本日、開校150周年記念式典がありました。式典会場となる体育館には、「150プロジェクト」として子供たちの製作した作品が飾られました。1年生は「リース」、2年生は「輪飾り」と工作「びよやす」、3年生は工作「ハッピーフラワー」、4年生は粘土「おもてなし」、5年生は粘土「大樹寺かぶと」、そして6年生は絵画作品「大樹寺」です。これらの作品が華やかさを演出してくれます。

記念式典は、150周年実行委員長となる社教委員長の挨拶から始まり、来賓を代表して岡崎市教育長の挨拶と続きました。その後、児童代表喜び言葉です。6年生の代表児童が、開校150年の喜びを述べていく中で、全校児童に遺訓唱和を呼びかけます。家康学習の成果を発揮し、1年生から6年生までの見事な遺訓唱和が体育館に響き渡りました。校長謝辞では、今後も家康学習を継続し自立の心を育むことを宣言し、子供たちと共に決意表明をしました。自分が「家康に学び、家康を超えるぞ〜!」と叫ぶと、全校児童から「おー!」と元気な声が返ってきました。粛々とした中にも子供の明るさのある良い式典となりました。

その後は記念行事。まずは記念動画の上映です。150年の歩みや現在の子供たちの活躍を写真や動画で紹介していきます。子供たちは大樹寺の歴史に驚いたり、今の生活の様子に歓声を上げたりしていました。アトラクションの二つ目は、和太鼓部とプロの和太鼓衆 SHIN とのコラボ演奏です。和太鼓部が演奏するのは「家康の自立」という本校伝統の曲です。和太鼓部は、この日に向けて SHIN さんの指導を受けて練習してきました。プロの技を受け継いだ子供たちの太鼓の迫力にびっくりです。その後 SHIN さんの単独公演。その演奏はさすがプロ。一気にそのワールドに引き込まれ、会場が熱気に包まれていきます。その熱気が最高潮に達したのが、ラストの演奏で先生方が登場した時です。子供たちの嬉しそうな顔、顔、顔。会場が盛り上がり、手拍子が沸き起こります。それに乘せられて和太鼓部・SHIN・教師による演奏が始まりました。この時の会場の一体感は何て表現したらいいのでしょうか。楽しくて、楽しくて、楽しくてたまりませんでした。太鼓をたたきながら夢心地。最高でした。

そしてラストは運動場でのバルーンリリース。全校児童が一斉にバルーンを解き放つと、色とりどりの風船が青空に溶け込んでいきました。子供たち一人一人の夢が世界に羽ばたいていくように感じました。本日で本校の歴史に150という大きな区切りができました。明日からは新しいスタートです。伝統を大切にしながらも新しい学校を創り、大樹寺小をますます輝ける学校にしていきます。

